



## 野鳥 トビ

翼を開くと160cmにもなる大型のタカ。トンビとも呼ばれる。体全身が濃い褐色で翼の内側に白い帯が走っている。飛んでいる時には尾羽がバチ型で三角形に見えるのが特徴。

# とうめい news

## 乾癬(かんせん)について 皮膚科:安藝 良一

## TOPICS

乾癬という病気について聞いたことはありますか？湿疹は湿った発疹と書きますが、乾癬は乾いた発疹がみられやすい皮膚の病気です。

乾癬は頭皮、臀部、肘、膝などの擦れやすい部分にカサカサした赤い発疹が生じる病気で、人によっては体中どこにでも発生し、爪に発生することもあります。かゆみもほとんどない場合から猛烈にかゆい場合まであります。

皮膚の細胞は作られてから約1ヶ月かけて角質に変化し、最終的に垢となって剥がれ落ちて新陳代謝されていきますが、乾癬では皮膚の細胞増殖が極端に早くなることで新陳代謝される期間が数日に短縮されてしまいます。その結果、垢となって剥がれ落ちることが間に合わなくなった角質が皮膚に残ってしまいカサカサした発疹となります。

乾癬は日本だけでなく世界中の人々に発症し、欧米では比較的一般的な病気と考えられています。日本でも40-50万人が罹患していると推定され現在でも増加傾向といわれています。

乾癬は原因不明の病気です。かなり詳しくわかってきてはいるのですが残念ながら病気の原因にはたどりついていません。現代病などという誤った情報が流れていることがあります。紀元前のミイラからも乾癬は発見されていますし、2000年前の書物にも乾癬について記載されています。人類は遠い昔から乾癬に悩まされていたことが推測されます。ただし、悪化する要因として喫煙、肥満、アルコールなどが知られており、戦後の日本で乾癬患者さんが増加してきている一因かもしれません。

また、「かんせん」という名前から感染するのではないかと誤解されますが他人にうつることは

無い病気です。

乾癬にはいくつかのタイプがあります。最も一般的なタイプは尋常性(じんじょうせい)乾癬と呼ばれ、皮膚あるいは爪だけに症状が発症します。膿疱性(のうほうせい)乾癬は膿を伴った発疹が高熱とともに生じます。乾癬性関節炎は皮膚症状だけでなく関節炎もいっしょに発症します。

現代医学で乾癬を根治することは残念ながらできませんが、症状を緩和するための治療法はあります。代表的な治療法は塗り薬です。近年では活性型ビタミンD3配合薬の開発が進み、皮膚への副作用を減らす事ができるようになってきました。この塗り薬は軟膏だけではなくローションやゲルに加えスプレーできる泡タイプなども開発されており、いずれの剤型も当院では採用しており、他にもPDE4阻害薬と呼ばれる新しいタイプの飲み薬も当院では採用しているので詳しくは担当医にご相談ください。

近年では注射療法の開発が進んでいます。まだ新しい治療法のため費用は高額であり、副作用などにも十分な注意が必要なため使用できる施設は大学病院などに限られていますが症状の強い方、膿疱性乾癬や乾癬性関節炎の方は治療対象となります。この注射治療が可能な病院への紹介も行っておりますので現在治療中の方も担当医にご相談ください。

乾癬は長期の治療が必要な病気ですが、少しずつ治療は変わってきています。現在通院中の方だけでなく治療を中断してしまっている方も、皮膚症状が気になっている方は皮膚科受診をお勧めします。

